

分野：自然への愛着

(志木市の自然について)

環境アドバイザー

青木 明雄

対象

志木市立宗岡第四小学校5年（89人）

所要時間



1時間30分

場所

志木市いろは親水公園

実施時期

令和3年12月2日

概要

宗岡第四小学校から、NPO法人エコシティ志木が依頼を受けて、実施。
志木市の自然について、柳瀬川と新河岸川の合流点のいろは親水公園を見て回りながら説明。

プログラムの ねらい

テーマは、「志木市の自然を守りたい」
志木市の自然は、昔と比べてどう変わったのか？川の水はきれいなのか？どんな生き物がいるのか？また、自然に対してNPO法人エコシティ志木では、どんなことをしているのかを知ってもらい、自然を大切にしてもらおう。

プログラムの内容

以下の内容を、2グループに分かれて行いました。

1. 新河岸川の流れを見ながら、川の流れの変化や特徴などを説明
2. 柳瀬川の流れを見ながら、川の流れの特徴や川の生き物などについての説明
3. カヤネズミ原っぱで、オギやヨシの花を観察し、カヤネズミやオオヨシキリなどの生きものがあることの説明。湧水が出ているところの観察。
当会が保全活動として、オオブタクサの抜き取りを行っていることの説明
4. 斜面林を見ながら、台地と低地の間の自然について説明。
湧水が湧き出ている場所の観察。シダ類やここでしか見られない植物がある貴重な場所であることを説明。
この斜面林で行っているエコシティ志木の保全活動について説明
5. この時期としては、冬の野鳥が沢山来ているので、代表的な冬鳥を説明。
当日は、前日の大雨のせいで、野鳥はあまり見られなかったが、写真を見せて説明。

受講者の反応

志木市の八ヶ岳自然の家に行ってきたこともあり、自然に対する関心が高かった。
いろは親水公園は、新河岸川と柳瀬川の合流点であり、川の違いの説明では、両方の川からの流れを、よく見ていた。
志木市内では、この場所でしか見ることのできない生き物の話を、興味深く聞いていた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

